

長生小学校 2021年度

人権教育通信No.4

あゆみ

いずみクラブウインターキャンプ

いずみクラブウインターキャンプは、人権についての学びを深めると共に、仲間との絆を深めることを目的として実施しています。今年度は、1月20日(木)に、放課後学校での人権学習となりました。

多目的ホールで大京原会館館長の杉本良先生による『君たちはどう生きるのか』をテーマした防災・人権学習の講演を聞きました。台湾地震の体験から学んだことや、差別・偏見をなくすために自分ができていることを考えました。短い時間でしたが、有意義な学習となりました。

6年生の感想

- ☆私は、地震の話聞いてきちんと対策しておこうと思いました。生まれてまだ大きな地震を体験したことがないけど、落ち着いて行動できるくらいなと思いました。日頃かたごひなんする準備をしておきたいです。人権力のある人は、差別に負けないと聞いたので、人権力のある人になりたいと思いました。差別に協力しないように気をつけたいです。自分が気に入った味や人だから好きだということが分かりました。常識にだまされないようにしたいです。
- ☆差別に負けない人は、どんな人かを教えてくださいました。差別をしない、差別に協力しない、へこたれないの3つです。差別や人の夢などのじゃまをしないということが改めて分かりました。これからは、差別されている人やしている人に会った時、助けたりきちんと注意したりできる人になりたいです。大切なことを改めて勉強できてよかったです。

楽しかったいずみクラブ

2月17日にいずみクラブの閉講式を行いました。今年度も地域のボランティアの方々にお世話になり、体験活動を通して仲間との絆を深めました。来年度の活動を子どもたちは心待ちしています。



お琴



折り紙



バンド



フットサル



ネイチャーゲーム



小物作り

あいさつのいずみプロジェクト

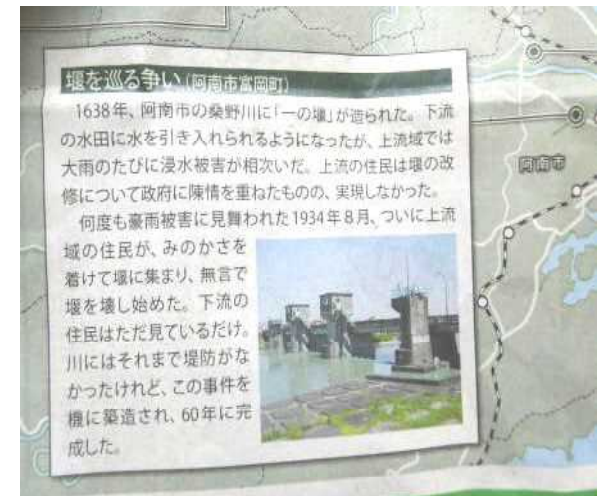
12月までは、10人以上にあいさつすることを目標にし、達成できるとあいさつカードに〇を記入してきましたが、毎日〇がつく子どもが増えてきました。そこで1月からは15人以上にレベルアップし、更に高めていこうとしています。よくできた人には、「Fantastic behaviorカード」を渡して、意欲付けを図っています。また、毎月、給食放送の時にあいさつカードに書かれた振り返りの言葉を読んでいきます。あいさつをした時の気持ちよさやあいさつがよくできていた友達のことを書かれています。友達のよさに目を向けることができている友達のことが書かれています。あいさつは相手とのコミュニケーションの「きっかけ」を作るとても大切なものです。この「きっかけ」を自然にできるようになることが、人とのコミュニケーションをとる力を大きく育てることにつながります。学校では、「おはようございます」だけでなく、廊下ですれ違う時に会釈をしたり、何かを渡す時に「どうぞ」「ありがとうございます」と言ったりして、気持ちのいいあいさつができる子どもが増えてきました。



【いずみからあふれるカード】【あいさつをした人をグラフ化】

地域教材『一の堰』

2月6日(日)の徳島新聞に、「四国防災八十八話」のうち7話が紹介されました。そのうちの1話が『一の堰』でした。『一の堰』については、地域教材として、4年生が人権学習(総合的な学習の時間)で学んでいます。記事にある上流域の住民というのが長生・宝田地域で、下流が富岡・見能林地帯です。長い間一方的に不合理な我慢を強いられてきた人々の気持ちや自分たちの暮らしを守りよりよくしたいという願い、先人の努力について考える学習をしています。



☆12月21日に人権教育・啓発市民講座が行われました。「性犯罪被害について考える～性暴力のない社会をめざして～」をテーマに染谷明日香さんの講演がありました。2月の市人権教育研究大会と啓発市民講座は、コロナ禍のために中止になりました。今年度、人権教育部の方々には、講座に参加いただき大変お世話になりました。